（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	わくわくの村　オール
事業主体 （連絡先）	わくわくの村　和栗由利子 長野県東筑摩郡麻績村日 3349　080-3654－6304
事業区分	(4)安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,698,021　円（うち支援金：　1,348,000　円）

事 業 内 容

・しぜん村（麻績の自然を楽しむ）
　秘密基地作りや山登り、キャンプの実施
　伝統食や異文化交流も実施
・じかんぎんこう（時間を使った支え合い）
　登録者同士で困ったことをシェアし、楽しいことを一緒にやっていく支え合いのしくみ
・居場所ベース（居場所支援）
　週２日場所を開放

【　キャンプ時の手作りパン作り　】

事 業 効 果

・しぜん村
　実施回数２８回　参加人数４３０人
　秘密基地作りや山登り、キャンプなどの実施で、自然の豊かさを確認し、生きる力がついた
・じかんぎんこう
　実施回数１５回　参加人数５０人
　参加者同士のやり取りで、やりたかったことができたり、支え合いができた。そのことで、人との繋がりで豊かにいきるを体感できた
・居場所ベース
　実施回数４９回　参加人数１０３人
　学校や家庭以外でも居場所ができたことで、安心して生活ができた

【目標・ねらい】

① 自然の豊かさを体感する
② 生きる力をつける
③ 人との繋がりで豊かにいきる
④ 安心して生活できるように
⑤ わくわくを持って生活する

※自己評価【　B　】

【理由】
しぜん村では秘密基地の実施など、より自然に入り込んだ活動ができた。新たに、じかんぎんこうや居場所支援をスタートさせた。

今後の取り組み

しぜん村では、来年度からは保育園の平日行事として、園児全員を対象に実施していくこととなった。たくさんの子どもたちに、自然の楽しさ（厳しさ）を体感してもらい、自分たちで作り出す力をつけてもらいたい。
じかんぎんこうでは、登録者を増やしながら、管理体制などを整えていきたい。
居場所ベースは、学校の先生や社協などとも連携をしながら、利用してくれる人の安心や楽しみに繋げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある